

登録コード	A3596473	開講年度	2026				
授業科目	専攻研究				担当教員	安江 恒	
英文授業名	Thesis Research						
単位数	5	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加わった対象】専門的な知識や研究能力を修得している				・実験，解析を通して得られた知見を地球的な環境問題と関連づけて考えるとともに今後の問題解決に対する提言ができる		
	【2022年度以前加わった対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				・実験，解析を通して得られた知見を地球的な環境問題と関連づけて考えるとともに今後の問題解決に対する提言ができる		
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加わった対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				・実験，解析を通して得られた知見を地球的な環境問題と関連づけて考えるとともに今後の問題解決に対する提言ができる		
	【2024年度以前加わった対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				・実験，解析を通して得られた知見を地球的な環境問題と関連づけて考えるとともに今後の問題解決に対する提言ができる		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	卒業研究課題に取り組み，測定，分析，考察を行うと共に，得られる結果を卒業論文としてとりまとめる。さらに，卒業論文発表会および学会発表を通して，他者に理解させる能力を養う。						
(5)授業計画	専攻研究 に引き続き試料採取，実験，データ解析を進め，専攻研究論文として取りまとめる。また，口頭発表を通して説明能力を養う。 研究の実施に当たって必要となる知識を得るための論文の精読およびその内容の紹介。 研究の進行状況の報告を行う。 最終回に授業アンケートを行う。						
(6)自主学習の指針	調査研究内容に関連する文献等を整理し，自ら得た内容との比較検討を行う。						
(7)成績評価の基準	調査実験内容，研究経過報告の内容，専攻研究論文，口頭発表。						
(8)事前事後学習の内容	調査研究の準備とデータ解析。内容に関連する文献等の整理。						
(9)テストやレポートの予定	研究計画および経過報告						
(10)成績評価の方法	調査実験内容，研究経過報告の内容によって評価する。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時						
(12)履修上の注意							
【教科書】	特に指定しない						
【参考書】	特に指定しない						